



10/8 「ぶか凧」見学



4年生が、総合的な学習で龍山町瀬尻地区に伝わる「ぶか凧」について調べました。伝統を継承するために結成された、瀬尻ぶか凧保存会の方にもお話をうかがい、実物の大きな凧もみせていただきました。

6/6 田植え体験



毎年お世話になっている鈴木さんの田んぼで、田植え体験をさせていただきました。今年も、お米作りについてのお話と、植え方の指導を丁寧にしていただきました。6年生にとっては最後となります。春の匂いと土の感触は、忘れることのない大切な思い出となっていることと思います。貴重な体験をありがとうございました。

9/20 ボート教室



横山小学校の卒業生であり、2004年アテネ五輪のボート日本代表の中本佳保里さんが、御指導してくださいました。ボートの乗り方を教わり、いろいろな経験談もお話してくださいました。ボートを体験することにより、ふるさとのよさやスポーツの魅力に触れることができました。

12/10 全校クラブ
「お米を食べよう」



収穫させていただいたお米を炊いて、おにぎりにして食べました。好きな具を入れて、自分で握ったおにぎりはとてもおいしかったです。

10/7 稲刈り体験



6月に田植えをした鈴木さんの田んぼでは、みんなの植えた稲が黄金色に輝いていました。鈴木さん、伊藤さんには、水田の管理をはじめ、タニシやカメムシの駆除など大変な作業をしていただきありがとうございました。今年は、日々成長していく稲や水田の様子を写真に撮って紹介くださり、子供たちにも身近に感じてもらうことができました。稲刈りでも作業の仕方やこつを丁寧に教えてくださって、子供たちがいっしょに体験できたことをうれしく思います。

7/5 陶芸教室



地域の先輩である陶芸家の山口 剛さんをお招きして、「陶芸教室」を行いました。作り方や工程を教わり、陶芸への思いや経験をうかがうことができました。保護者のみなさんも参加してください、すてきな作品が出来上がりました。山口さん、御指導をありがとうございました。

横山太鼓



10/11 天竜・春野地区音楽科研究発表会



11/16 たつ子発表会

6月から舟橋弘子先生の御指導の下、練習を重ね、今年は3会場で演奏してきました。代々受け継がれてきた伝統を守り、心に響く素晴らしい演奏でした。聴く人たちにも感動を与えてくれました。



11/24 龍山ふれあい文化祭

学校運営協議会

4/25 第 1 回

*** 6年度の目標 ***

- ・過疎化・少子高齢化が進む地域の小規模校において、子供、学校のために、地域が学校支援活動として何ができるのか熟議する。
- ・地域に学ぶ活動における支援のあり方について熟議する。

《熟議内容》

- 1) 学校運営の基本方針について
- 2) 夢育やらまいか事業に対する意見書について
- 3) 令和6年度の目標について

6/6 第 2 回



《熟議内容》

- 1) 授業参観や運動会における子供の様子
- 2) 学校支援活動の具体化に向けて
 - ① 目指す子供像への取り組み
 - ② グループワークと発表

10/15 第 3



《熟議内容》

- 1) 授業参観での子供の様子
- 2) 前期学校評価の結果と2期以降の取り組みについて
- 3) 卒業時に「目指す子供像」について

R7.2月7日(金) 第 4 回

学校運営協議会の自己評価について

※委員に事前に記載していただいた「自己評価について」のアンケートから抜粋させていただきました。

《評価項目1》 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・学校が目指す「誰もが安心できる温かで魅力ある学校」を児童や保護者と先生及び地域の方が連携し、どのように支援するか、また少人数でのよさや強みに対する意見や子供たちの生活・学習態度から感じる元気で仲良く遊ぶ様子を共通認識する中で熟議することができた。
- ・少数でありながら、誇りをもてる学校であること。
- ・学校運営の方針については、理解しようと思う。
- ・子供たち、学校のために、地域ができることには限りがある中で、要請に基づいた行事参観、授業参観、発表会等への参観等を通じて、学校教育への協力を進めようという方向での意見交換は、ある程度進められたと思う。
- ・熟議まではできなかったように思う。

《評価項目2》 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・できたと思う。総合的な学習の時間への支援や大太鼓の移動運搬への支援など、多くの地域の方が支援してくださり、感謝している。
- ・それぞれの立場で教育活動の充実につながる学校支援活動のあり方について、じっくり考え、熟議を進めることができた。また、グループでの意見交換は、発言の機会も増え、効果的であった。
- ・学校教育目標と学校支援活動とのつながりを意識して、協議を重ねた。ぶか塚、大谷グローブ、うどん打ち等の意見があった。地域人材等の活用をする。
- ・学校、家庭、地域が実行することは理解する。

《評価項目3》 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・情報発信まではできていません。
- ・情報発信という点では、それぞれの委員が自らの所属する地域や組織等の中で、学校の考えや子供たちの様子を個々に伝えられたと思うが、情報発信というレベルには至っていない。
- ・たよりや自治会を通じて、PTA資源回収の周知や学習発表会への参加のPRなどで発信しているが、児童が少ない地域での情報発信は難しい状況で足りなかった。
- ・協議結果についての情報発信は少なく、あまり外部では認知されていない気がする。
- ・協議結果を受けて、地域の会合や様々な集まりの中で、小学校の教育活動の様子を発信するよう努めた。